



西日本区中部ホームページ・http://www.ys-chubu.jp/

2010年12月号

「主題」

- 国際会長 : 「心新たに立ち上がろう」
 アジア地域会長 : 「心新たに立ち上がろう」
 西日本区理事 : 「飛翔たとう ワイズスピリットを胸に」
 中部部長 : 「ワイズはフェイス to フェイス！」(コミュニケーションは顔を見て声をかけて)
 プラザクラブ会長 : 「とにかく楽しくやってみよう」

【EMC-M 会員同士の親睦を深め、クラブ発展の為の礎を築こう。西日本区 2000 名に向かって！】

1 2月例会および今後の予定案内

【12月第1例会(クリスマス会)】

日時：12月2日(木)・18:45-
 場所：ケンポー・東区東桜町2-15-27 TEL.052-931-0271
 会費：会員・通常会費 ゲスト・5,000円/人

【12月第2例会】

日時：12月16日(木)・18:45-
 場所：名古屋YMCA会議室
 内容：次月例会打合せ
 出席義務者：役員(島崎・櫛田・後藤)
 1月担当者(鈴木・大島)
 2月担当者(櫛田・高田)

【今後の予定】

- 老人ホーム音楽慰問
 日時：12月19日(日)・14:00-15:00
 場所：アミーユ高辻
 名古屋市瑞穂区雁道町1-17-1(052-889-4507)
 集合時間・場所：11:30・小澤さん宅(052-931-3317)
- クリスマス キャロル in タワーライツ2010
 日時：12月23日(祝・木)・18:00-
 場所：JR名古屋駅タワーズガーデン
 *雨天中止
- 1月第1例会
 日時：1月6日(木)・18:45-
 場所：名古屋YMCA会議室
- 1月第2例会
 日時：1月20日(木)・18:45-
 場所：名古屋YMCA会議室
- 2月第1例会【4クラブ合同例会】
 日時：2月10日(木)
 場所：未定

1 1月例会およびその他活動報告 (敬称略)

役員	会員氏名	出席者		
		1	2	①②③
	大島 孝三郎	○		○○
	大平 純市			
	小澤 幸男	○		○
書記	櫛田 守隆	○		○○○
会計	後藤 猛	○		○○
会長	島崎 正剛	○		○○○
直前会長	鈴木 誉三	○		○ ○
	高田 廣			
連絡主事	万福寺 昭美			(研修中)
ゲスト				
課外活動	①チャリティーラン準備作業 11/5			
	②チャリティーラン 11/6			
	③パレットキッズと釣り会 11/13			
出席率(%)		66.7		
ファンド・当月/累計(円)		17150	17150	
1月号ブリテンの寄稿者は万福寺さんです。 400字詰原稿用紙4-5枚を目安にお願いします。 Eメール moritaka_kushida@ybb.ne.jp				
今後の順序・筆が遅い方は、事前に準備をお願いします。 2月号・小澤 / 3月号・鈴木 / 4月号・島崎 5月号・大平 / 6月号・高田 / 7月号・大島				

EMC(Extension, Membership & Conservation) = Eは新クラブを設立すること。MCは新会員増強と意識高揚をはかること。ワイズメン運動を直接拡大強化する事業である。

11月第1例会報告

日時：11月8日(木)・18:45-20:30

場所：勝美屋

1. 松永裕子さん退会・島崎
先日、松永さんから退会の申し出がありましたので、10月31日付で了承した。
2. ネット会寄付要請・島崎
クラブから5,000円を寄付する。
3. 合同例会開催・島崎
中部部長の公式訪問に合わせて開催予定の南山・グランパスとの合同例会は、2月以降とする。従って、12月-1月の第1例会は当初のスケジュール通りとする。
4. チャリティーラン準備作業・島崎
参加者確認。
5. チャリティーラン・島崎
(1) 当日のプラザ担当作業確認
(2) 集合時間、参加者確認
6. パレットキッズとの釣り会・榎田
集合時間、参加者確認
7. 反省会



(プラザでは「反省会」と「飲み会」は同義語です)

11月第2例会報告

日時：11月18日(木)・18:30-19:30

場所：名古屋YMCA会議室

1. 11月17日開催中部会長報告・島崎
 - (1) 根の上祭り・南山バザー・チャリラン報告
 - (2) クリスマスカードコンテスト作品展示
日時:12月19日(土)-12月25日(土)
場所:栄セントラルパーク市民ギャラリー
 - (3) クリスマス・キャロル合唱隊・男性募集
合唱隊は11月30日より毎週火曜日に4回練習、男性少なく現在募集中。詳しくはYMCAまで連絡のこと。
 - (4) ◇東海・奈良・御殿場、IBCトライアングル締結
◇名古屋・紀ノ川・熱海グローリー、締結予定
 - (5) 2月10日(木)、東海・南山・グランパス・プラザ4クラブ合同例会開催、渋谷部長公式訪問予定、内容・場所等詳細については次回会長会(1/26)で決定する。
 - (6) 中部部会は8月28日(日)、名鉄ニューグランドホテルにて開催予定。

2. 12月第1例会・島崎

お寺で食事も一興と現在親しくしている人と折衝中、駄目な場合はケンポーとする。

3. 老人ホーム音楽慰問・榎田 (略)

チャリティーラン前夜の準備作業

11月5日、午後6時から協力会社の方々、リーダー、ワイズメンバー30人ほどがYMCAの3階会議室に集まり、翌日のチャリラン準備作業を行った。

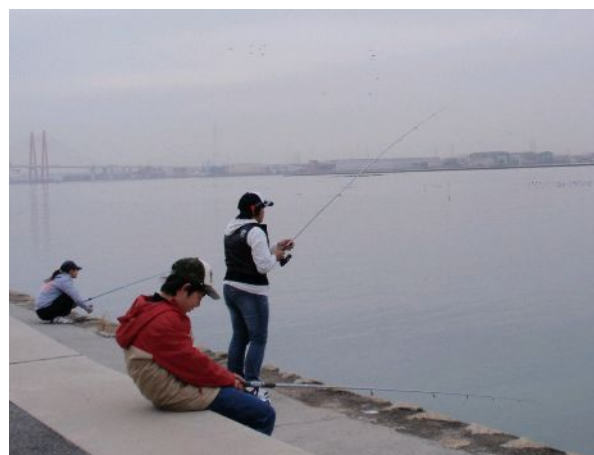
島崎さんはハモンドオルガンを積み込みに小澤さんのところへ、鈴木さんとわたしは作業部屋に充てられた会



(チャリティーラン準備作業、リーダーたちがガンバリました)



(チャリティーラン開始前、のぼりの取り付け中です)



(いはずは釣れませんでした 来年に期待しましょう)

議室の縁に沿ってラッフル用の袋600枚を並べ、協力会社から寄付していただいたボールペン、メモ帳など文房具

や麦茶パック、お菓子など様々な物を箱から出して詰め込む。段ボールを開梱する人、畳む人、縛る人、運ぶ人、誰に言われなくともそれぞれが役割を果たし、スムーズに作業が流れる。去年よりいただいた品物が多い気がする。景気が良くなったのかな？

8 時前終了、実行委員長の終了の挨拶を聞かず失礼しました。明日の集合は8時半だけ、お天気は大丈夫だろうか。

秋晴れに 900 人が集う

第 17 回チャリティーランは、三菱商事、ジョンソンコントロールズ、キャセイ・パシフィック、アメアスポーツほか 120 社余の協力の下、ランナー360 人余を含む約 900 人が参加して 11 月 6 日名城公園で開催された。

「地下鉄が渋滞でしたので」と遅れた言い訳をしながら着いたが相手にされず、手渡されたのはビニールロープにはさみとのぼり、距離表示の看板である。1.2 キロのジョギングコースに沿って取り付け作業に出掛けるところである。われわれとリーダーの 8 人が、島崎会長を先頭にのぼりを担ぎながら列を作って歩く姿は、大名行列さながらである。

のぼりと看板の取り付けが終わり、ほっと一息つきながらしばし休憩も次の作業、コースの主な場所に立つのランナー誘導である。11 時半プラザメンバー4 人がコースの主な十字路に立つ。第一陣は子どもたち、コースを外す子を元に戻し、お尻を叩いて「ガンバレ」と送り出す。高学年、一般人と次々に駆け抜ける。間があってチームレースに入ったようだ。川や海で釣りを楽しんだ、顔馴染みのパレットキッズの子たちも走って来る。ゼッケンの末尾 5 番 6 番が一緒に走る後姿を見送りながら、近くののぼりのロープを解いて仕舞い支度をする。

道々外したのぼりと看板を担いでグラウンドに戻り、おにぎりを食べビールを飲みながら、仲間たちと「中国」を肴に談笑している間、長々と表彰式が続く。次のイベント、ラッフルの抽選会に休憩していた人々が、グラウンドへ集まり始めた。折りたたみ自転車、ゴルフクラブなど豪華な賞品が出る度に歓声上がる。プラザの高田さんにワインが当たるも、最後まで握り締めていたわが持ち番号は呼ばれず。来年を楽しみに家路についた。

パレットキッズと一緒にハゼを釣る

わがクラブは 11 月 13 日、稲永公園ビジターセンター前の堤防でパレットキッズたちと釣り会海の部を行った。毎年 11 月に開く釣りは今年で 4 回目、この日は中高生 6 人とクラブから 5 人が参加して、黄砂で曇る秋空の下でハゼ釣りをした。

10 時半に森宗さんに引率された子どもたちが来た。お互いの挨拶を終え、1 人 1 人に付きっきりで竿やリールの扱い方などのレクチャーをする。キャストを繰り返すうちに遠くに飛ぶようになった子もいる。「いいよ」と誉めると嬉しそうな笑顔が返ってきた。それにしても釣れ

ない。今年は海水温が高く 11 月中旬までいけると思ったが、既に深場に移動したようだ。お昼になっても子どもたちには 1 尾も来ない。

昼食時、あきらめて仕舞い姿で脇を通りかかったつり人に「どうですか」と声を掛ける。「あちこち探ったが、どこも駄目です。先週まででしたね」との返事。最後通告を受けたようなものである。昼からは「巻き上げて」と言われた子の竿に思いがけず付いていた 1 尾が、今日唯一の獲物でした。

お別れするとき、「釣れなくても楽しかったよ。来年は頑張る」と言ってくれた子供たちの言葉が嬉しかった。

サラ・ブライトマンのコンサートに感激

たまたま、テレビのコマーシャルを見ていたとき、非常に綺麗な曲がテーマソングとして流れていた。そのコマーシャルは何処が出しているのかも定かでは無いが、この曲が流れるとコマーシャルより、その歌手が誰なのか、曲名はどんな題名か気になって、致し方ありませんでした。

ひよんな事から、ある日、本屋とビデオ・レンタルを兼ねたお店に入ったら聞きなれた曲が掛かっていましたので、さっそく店員に今、掛かっている曲と歌手の名前を問いただしたら、歌手の名前はサラ・ブライトマンで曲名はタイム・トゥ・セイ・グッバイだと教えてくれました。やっとの思いでブライトマンの CD にありつけました。CD の名前はアマルフィ・サラ・ブライトマン・ラブ・ソングです。

CD を入手し大変おどろいた事は全世界でアルバム・セールスがなんと 2.600 万枚を超えるとの事、その活躍は 1991 年 NHK 紅白歌合戦に出演し「オペラ座の怪人」のナンバー「ミュージック・オブ・ザ・ナイト」を歌いまた、1998 年世界陸上大阪大会開催式に出演し「栄光の輝き」を歌い北京五輪開会式、最近では NHK スペシャルドラマ「坂の上の雲」の主題歌「スタンド・アロン」など・・・私がい知らなかっただけで大変な歌手です。

サラ・ブライトマンはもとソプラノ歌手ではあるが歌唱のジャンルはオペラ、ポップスと幅広く、特にクラシックノポップスといったジャンルを超越した新ジャンル「クラシカル・クロスオーバー」を開拓しその美声の声域は 3 オクターブに及び、「オペラ座の怪人」で指揮者を務めたデビット・キャディックなどは、彼女はポップスのものとソプラノ的なものと二通りの発声を使い分けることができ、ソプラノ部の最高音は 6 オクターブに達すると証言している、との事ようです。一度でいいから是非、生の歌声を聞いてみたいものだとなヨウボと話していましたが、9 月の上旬ごろ、名古屋公演があるというテレビから情報をニョウボが得、早速インターネットで調べてみたらインターネットで予約が可能という事がわかりました。パソコンでの予約申込みの手続きができませんので叱られながら娘にお願いして、10 月 14 日(木)19 時より日本ガイシホールで開催されるコンサートの S 席をニョウボと合わせて 2 枚、コンビニから現金

払いで申込みました。

当日マイカーで日本ガイシセンターに18時30分ごろ着いたところ1,400台ほど駐車可能なスペースがもはや、ほぼ一杯で駐車場の片隅しか空いていません。なんとか駐車し会場には既に2,000人の入場者で埋まりS席でもあり充分舞台の前面ぐらいに着席できるかな?とと思っていましたら1階のフロアの真ん中ぐら이의席で舞台上に立っている人の顔が小さくしか見えなくて、オペラグラスが必要なほどでした。よくよく、考えてみればガイシホールはスケートリンクとしても使用するとので一階はフラットの会場にイスを並べただけの席で、ましてや観覧席がスタジアム式に成っていませんので舞台の人の顔も前席の人の頭で窺うことが難しく残念でした。

舞台では、愛知室内オーケストラの演奏メンバーが立ち並び19時きっかりに、サラ・ブライトマンの音楽が始まりました。さすがフルオーケストラをバックにオーケストラの音に負けない美声で22曲歌い込み観衆を唸らせ、またとない至福の時を過ごさせてくれました。

今度、来名する事があればオペラグラスを持参して、拝聴してみたいものです。

(後藤 猛)

聖書の言葉

【すると、王は彼らに答えて言います。「まことに、あなたがたに告げます。あなたがたが、これらのわたしの兄弟たち、しかも最も小さい者たちのひとりにしたのは、わたしにしたのです。」(マタイの福音書・25:40)】

【『最も小さな者にした』ことはイエスにしたことであり、神を困窮した者、貧しく小さい者と考え、自分にとって何の得にもならない者に対する愛の奉仕こそが、神への真実な奉仕である。』】

【クリスマスはキリストの降誕を祝う祭りのことで、キリスト”Christ”のミサ”mass”を意味し、この日にプレゼント交換するのは、キリストへの誕生日プレゼントで上記の言葉に由来する、と言われている。新約聖書にはイエスの誕生日に関する記述はないが、誕生日については色々な説がある。「イエスは生まれながらに救世主である」と天地創造の日をカエサルが紀元前45年に制定したユリウス暦の1月1日とする説、イエスがヨルダン川で洗礼を受けた1月6日(注:1)とする説、P典創世記(注:2)では、太陽よりも先に「光を創り、昼と夜を分けた」と書かれている。「昼と夜を分けた」とは昼夜の長さが同じ春分の日(当時は3月25日)が天地創造の1日目、マラキ書の「義の太陽が昇り」とは、救世主は「義の太陽」であり、天地創造から4日目に「神が太陽と月を創った」として3月28日にイエスが生まれた、という説。近年の天文学者も、4月17日、6月17日、9月11日、9月15日とベツレヘムの星から色々解析している。では、12月25日をイエス・キリストの降誕日とした根拠は?キリスト教を弾圧してきたローマ帝国は、313年コンスタンティヌス帝の「ミラノ勅令」により信教の自由を宣言、392年にテオドシウス帝が国教化した。また、その時代

に普及していたミトラ教(注:3)の「太陽神の誕生日」を祝う日とローマの農耕神をたたえる祭りの日、12月25日をそのままキリストの誕生日に採用した。以前から宗教指導者の間では、「洗礼の時、神が私の子と言ったときが救世主である」と「生まれながらに救世主である」との時間差に意見が分かれたため、325年の「ニカイア公会議」(注:4)において12月25日を誕生日、1月6日を公現祭にする、との統一見解を出した。このあたりが歴史的に合理性はあるが、一般には天使ガブリエルがマリアに受胎を告知をした3月25日、その9ヵ月後の12月25日に生まれた、という伝説が支持されている。いずれにしても、ベツレヘムで野宿できるのは4月から10月頃まで、12月は季節的に無理のようです。】

(注:1)1月6日・公現祭(エピファニー)西方教会ではイエスへの東方の三博士の訪問と礼拝を記念する。正教会ではイエスの洗礼を記念して神現祭、洗礼祭という。

(注:2)P典創世記・モーセ五書を構成する資料。P資料は祭司的色彩が強く、祭儀的律法、絶対的超越的な神観などに特徴がある。

(注:3)ミトラ(ミトラス)教・ローマ帝国治下で紀元前1世紀より5世紀にかけて発展、キリスト教とローマ国教を争ったが、キリスト教が国教になるとともに衰退していった。

(注:4)ニカイア公会議・キリスト教の教義が確立されていく中で様々な解釈がなされたため、コンスタンティヌス帝の指導と庇護の下325年初の全教会の代表者による会議が開かれた。(参考:Wikipedia)

Zoom・いま、世界の元首はセールスマン

11月10日の日経夕刊に「ロールス・ロイス 中国社に航空エンジン」の見出しで、英国のキャメロン首相が9日訪中にあわせて合意した、との記事があった。その5日前の日経新聞は、『サルコジ大統領のトップセールスで、仏企業が中国に対し総額100ユーロ(1兆1500億円)を超える航空機や核燃料を売却する契約を締結した』と書く。14日の中日新聞には「米大統領アジア歴訪 “ビジネス司令塔” 後半失速」の見出しに『雇用を米国に持ち帰るために何だってやる。それが悪いとは少しも思わない』とオバマ大統領の言葉が掲載されていた。

「トランジスタラジオ 池田勇人 セールスマン」のキーワードでネット検索してみた。『かつて、「セールスマン」と評された首相がいました。池田勇人首相です。1960年代前半、首相はフランスを訪れました▼時のドゴール大統領に持っていった手土産が、国産のトランジスタラジオです。大統領は会談の後で「トランジスタラジオのセールスマンみたいだ」と語った、といいます。皮肉まじりでした▼テレビで国会中継をみていて、池田氏の逸話を思い出しました。菅首相が、就任以来の胸を張れる実績にベトナムへの原子力発電の売込み成功をあげていたからです。「原発のセールスマンみたいだ。と思っただけです』という記事に当たった。日本共産党の機関紙「赤旗」の11月10日に載った皮肉たっぷりのコラムである。「トップセールス」とは、昔民間で使われていた言葉だが、今や国家元首はセールスの素質も問われるらしい。